



平成 30 年 8 月 21 日発行

薬局通信

第 90 号



大阪母子医療センター

掲載薬品一覧

新規試用品目	新規採用医薬品	院外専用医薬品
フェロ・グラデュメット錠105mg 献血ヴェノグロブリンIH10%静注 0.5g/5mL、2.5g/25mL、5g/50mL オキシコンチンTR錠5mg 小児用ムコソルバンシロップ0.3% (呼吸器・アレルギー科限定)	ジャドニュ顆粒分包90mg ガドビスト静注1.0mol/L シリンジ5mL アコアラン静注用600単位	ゲーフィス錠5mg エルネオパNF2号輸液2000mL ナウゼリン錠10 コレバイン錠500mg サンピロ点眼液2% (5mL/瓶)
	患者限定医薬品	ヒルドイドクリーム0.3% (25g/本)
採用中止薬	メナクトラ筋注 キイトルーダ点滴静注100mg コンサータ錠18mg セレネース錠0.75mg リクラスト点滴静注液5mg エストラーナテープ0.72mg メリスロン錠6mg ミティキュアダニ舌下錠3,300JAU ファーストシン静注用1g	クレナフィン爪外用液10% (4mL/本) ボルタレンSRカプセル37.5mg
テツクール徐放錠100mg 献血ヴェノグロブリンIH5%静注 0.5g/10mL、2.5g/50mL、5g/100mL オキシコンチン錠5mg		

採用薬品の処方開始は、原則として平成 30 年 9 月 3 日からとなります。

ただし、採用中止薬、切り替え等は院内在庫薬がなくなり次第実施となりますので開始日が異なる場合があります。

薬事委員会からのお知らせ

オラネジン液 1.5%消毒用アプリケーション 10mL、25mL がオラネジン液 1.5% OR 消毒用アプリケーション 10mL、25mL へ採用変更されます。

新規試用医薬品

フェロ・グラデュメット錠 105mg

(マイラン EPD 合同会社) 徐放型鉄剤

一般名：硫酸鉄徐放錠

効能効果：鉄欠乏性貧血

用法用量：鉄として、通常成人1日105～210mg（1～2錠）を1～2回に分けて、空腹時に、または副作用が強い場合には食事直後に、経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減する。

処方区分：院外・院内処方可

長期投与の可否：可

薬価：1錠8⁴⁰円

献血ヴェノグロブリン IH10%静注 0.5g/5mL、2.5g/25mL、5g/50mL

(日本血液製剤機構) 血漿分画製剤(液状・静注用人免疫グロブリン製剤)

一般名：生物学的製剤基準 ポリエチレングリコール処理人免疫グロブリン

効能効果：1. 低並びに無ガンマグロブリン血症

2. 重症感染症における抗生物質との併用

3. 特発性血小板減少性紫斑病(他剤が無効で、著明な出血傾向があり、外科的処置又は出産等一時的止血管理を必要とする場合)

4. 川崎病の急性期(重症であり、冠動脈障害の発生の危険がある場合)

5. 多発性筋炎・皮膚筋炎における筋力低下の改善(ステロイド剤が効果不十分な場合に限る)

6. 慢性炎症性脱髄性多発根神経炎(多巣性運動ニューロパチーを含む)の筋力低下の改善

7. 慢性炎症性脱髄性多発根神経炎(多巣性運動ニューロパチーを含む)の運動機能低下の進行抑制(筋力低下の改善が認められた場合)

8. 全身型重症筋無力症(ステロイド剤又はステロイド剤以外の免疫抑制剤が十分に奏効しない場合に限る)

9. 天疱瘡(ステロイド剤の効果不十分な場合)

10. 血清IgG2値の低下を伴う、肺炎球菌又はインフルエンザ菌を起炎菌とする急性中耳炎、急性気管支炎又は肺炎の発症抑制(ワクチン接種による予防及び他の適切な治療を行っても十分な効果が得られず、発症を繰り返す場合に限る)

11. 水疱性類天疱瘡(ステロイド剤の効果不十分な場合)

12. ギラン・バレー症候群(急性増悪期で歩行困難な重症例)

用法用量：本剤は効能・効果に応じて以下のとおり投与する。なお、直接静注する場合は、きわめて緩徐に行うこと。

・低並びに無ガンマグロブリン血症：通常、1回人免疫グロブリンGとして200～600mg（2～6mL）/kg体重を3～4週間隔で点滴静注又は直接静注する。患者の状態によって適宜増減する。

・重症感染症における抗生物質との併用：通常、成人に対しては、1回人免疫グロブリンGとして2,500～5,000mg（25～50mL）を、小児に対しては、1回人免疫グロブリンGとして100～150mg

(1~1.5mL) /kg 体重を点滴静注又は直接静注する。症状によって適宜増量する。

- ・特発性血小板減少性紫斑病：通常1日に、人免疫グロブリンGとして200~400mg (2~4mL) /kg 体重を点滴静注又は直接静注する。なお、5日間使用しても症状に改善が認められない場合は、以降の投与を中止すること。年齢及び症状に応じて適宜増減する。
- ・川崎病の急性期：通常、人免疫グロブリンGとして1日に400mg (4mL) /kg 体重を5日間点滴静注又は直接静注、若しくは人免疫グロブリンGとして2,000mg (20mL) /kg 体重を1回点滴静注する。なお、年齢及び症状に応じて適宜減量する。
- ・多発性筋炎・皮膚筋炎における筋力低下の改善（ステロイド剤が効果不十分な場合に限る）：通常、成人には1日に人免疫グロブリンGとして400mg (4mL) /kg 体重を5日間点滴静注する。
- ・慢性炎症性脱髄性多発根神経炎（多巣性運動ニューロパチーを含む）の筋力低下の改善：通常、1日に人免疫グロブリンGとして400mg (4mL) /kg 体重を5日間連日点滴静注又は直接静注する。なお、年齢及び症状に応じて適宜減量する。
- ・慢性炎症性脱髄性多発根神経炎（多巣性運動ニューロパチーを含む）の運動機能低下の進行抑制（筋力低下の改善が認められた場合）：通常、人免疫グロブリンGとして「1,000mg (10mL) /kg 体重を1日」又は「500mg (5mL) /kg 体重を2日間連日」を3週間隔で点滴静注する。
- ・全身型重症筋無力症（ステロイド剤又はステロイド剤以外の免疫抑制剤が十分に奏効しない場合に限る）：通常、成人には1日に人免疫グロブリンGとして400mg (4mL) /kg 体重を5日間点滴静注する。
- ・天疱瘡（ステロイド剤の効果不十分な場合）：通常、1日に人免疫グロブリンGとして400mg (4mL) /kg 体重を5日間連日点滴静注する。なお、年齢及び症状に応じて適宜減量する。
- ・血清IgG2値の低下を伴う、肺炎球菌又はインフルエンザ菌を起炎菌とする急性中耳炎、急性気管支炎又は肺炎の発症抑制（ワクチン接種による予防及び他の適切な治療を行っても十分な効果が得られず、発症を繰り返す場合に限る）：人免疫グロブリンGとして初回は300mg (3mL) /kg 体重、2回目以降は200mg (2mL) /kg 体重を投与する。投与間隔は、通常、4週間とする。
- ・水疱性類天疱瘡（ステロイド剤の効果不十分な場合）：通常、1日に人免疫グロブリンGとして400mg (4mL) /kg 体重を5日間連日点滴静注する。
- ・ギラン・バレー症候群（急性増悪期で歩行困難な重症例）：通常、1日に人免疫グロブリンGとして400mg (4mL) /kg 体重を5日間連日点滴静注する。

処方区分：院内処方可

薬価：1瓶 0.5g/5mL 4,559⁰⁰円、2.5g/25mL 20,525⁰⁰円、5g/50mL 38,547⁰⁰円

オキシコンチン TR錠 5mg 劇薬、麻薬、処方箋医薬品

（塩野義製薬株式会社）持続性癌疼痛治療剤

一般名：オキシコドン塩酸塩水和物徐放錠

効能効果：中等度から高度の疼痛を伴う各種癌における鎮痛

用法用量：通常、成人にはオキシコドン塩酸塩（無水物）として1日10~80mgを2回に分割経口投与する。

なお、症状に応じて適宜増減する。

処方区分：院外・院内処方可

長期投与の可否：否（30日）

薬価：1個 134⁷⁰円

小児用ムコソルバンシロップ 0.3%

（帝人ファーマ株式会社）気道潤滑去痰剤

一般名：アンブロキシール塩酸塩製剤

効能効果：下記疾患の去痰

急性気管支炎、気管支喘息

用法用量：通常、幼・小児に1日0.3mL/kg（アンブロキシール塩酸塩として0.9mg/kg）を3回に分けて経口投与する。なお、年齢・症状により適宜増減する。

処方区分：院外・院内（呼吸器・アレルギー科限定）処方可

長期投与の可否：可

薬価：1mL 9⁵⁰円